

開催の概要

日 時：平成 23 年 5 月 10 日（火） 14 時 00 分～15 時 00 分
会 場：勤労者共済サービスセンター
出席者：大久保（市長）、大山、中島、生沼、齋藤（以上、2 号委員）島田（3 号委員）、速見、
（敬称略）川又、（以上、4 号委員）寺内（5 号委員代理）櫛下、生方（委員代理）、
矢田貝（以上、7 号委員）、永井（9 号委員）大森、増淵（以上、10 号委員）

議事要旨

(1) 平成 22 年度事業報告及び決算について

資料に基づき、以下のとおり事務局より説明があった。特に質疑応答はなく、内容について承認された。

（資料 1 参照）

- ・平成 22 年 10 月に再編成を行い、市街地循環バスの再編（路線バス化）、地域コミュニティバスの再編（デマンド化）、ふれあい健康センター送迎バスの活用開始（実施に向けた協議）を行った。
- ・利便性向上利用促進事業として、運賃及び乗り継ぎの統一、利用者意向調査、高齢者・障害者支援を行った。
- ・環境対策事業として、サイクル&バスライドのための駐輪場整備を行った。
- ・協働の取組事業として、バス停オーナー及びサポーターとしての協賛の依頼を行った。
- ・これらの事業決算（歳入と歳出）の説明を行った。

(2) 西部地区バス再編成について（協議）

来年度に実施予定である市西部地区のバス再編成について、事務局より説明があった。特に質疑応答はなく、内容について承認された。（資料 2 参照）

- ・現行の思川・豊田路線と中路線を短縮して「仮称）思川線」と「仮称）道の駅線」に変更するとともに、寒川路線と生井路線を廃止する。検討中のダイヤは資料の通りである。
- ・デマンド化を実施し、大きく「中・穂積・豊田地区」と「寒川・生井地区」に分けて運行を行う。
- ・サービスを実施する各地域については、サービス内容と利用方法を記載したパンフレットを配布し、周知活動を継続している。

(3) 西部デマンド運行仕様書について（協議）

市西部地区のバス再編成に伴い、デマンドバスの運行仕様について事務局より説明があった。質疑応答のうち、内容について承認された。（資料 3 参照）

- ・仕様書には運行エリア、運行日時、運行方法、使用車両、運行開始時期、受付業務、費用の負担、法律上の許可事務手続き、事業者の選定、運賃、事業評価指標、その他について定めている。
- ・この仕様書に沿って事業者を募集・選定し、運行を委託する予定である。

[主な質疑応答]

委 員：前回の会議では、関係する事業者間で協議を行ったうえで事業者選定の方法を詰めていくとの説明があったが、協議が整ったと理解してよしいのか？

事務局：準備段階で参画意志のあったタクシー協会（加盟各社）、大山タクシー、野木タクシーとの協議を行い、今回の仕様書として整ったものである。タクシー協会としての応募には業者サイドとしていくつか課題があるため、JVとして応募することも考えられる。

委 員：既に運行されている東部地区のデマンドについては、満車で予約が不可能だった場合の記録も残されているのか？

事務局：満車だった場合の他に、後からキャンセルがあった場合も含めて、予約業務のデータは整理されている。

委 員：路線型バスとデマンドバスの組み合わせとしては、いいバランスになってきた感じがする。しかし、県民意識としてはどうしても乗り継ぎを面倒と思う傾向が強いが、何か意見は寄せられているか？

事務局：今回の西部デマンド化に際しては、小山駅西口まで乗り換え無しで行きたいとの要望が多く、駅直行便（追加料金）の設定を検討した。しかし、小山駅の自由通路整備に伴う駅構内整備が終了するまではバスの乗り入れが難しいために、保留となっている。

委 員：乗り継ぎについては利用者の慣れも必要とは思いますが、そのような改善努力も引き続き検討して欲しい。

(4) その他 第 1 回おーバス写真・絵画コンテストの実施について

コンテストにおける入賞者と入賞作品について事務局より説明があり、特に質疑応答はなく、内容について承認された。（資料 4、及び入賞作品掲示）

（以 上）